

あえて年間 100 症例限定。

塚原デンタルクリニックの インプラント治療について



塚原デンタルクリニック 小冊子

はじめに

こんにちは、塚原デンタルクリニック院長、塚原宏泰です。

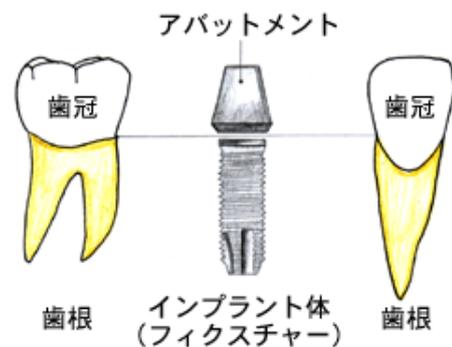
「歯を失ってしまってよく噛めない」「インプラント治療を薦められたが、まだ迷っている」という方はいらっしやいませんか？この小冊子では失った歯を取り戻す新しい治療方法「インプラント」について分かりやすく解説をしています。

数ある治療法のなかから、なぜ当医院がインプラントを重視しているのか。それにはどのような方法と手順があるのか。医院として、それら治療法にどのようにアプローチしているか。患者さんにとって、本当に最適な治療とは何か——。

この小冊子をご覧いただき、当医院のインプラント治療について少しでもご理解いただければ幸いです。また気になったこと、分からないことがありましたら、どんな些細なことでもご相談ください。患者さんに心から安心して治療を受けていただき、治療後には心から満足していただくこと。それがわれわれの願いであり、喜びなのです。

第1章 インプラントとは？

インプラントは失われてしまった歯根の代わりに、顎の骨へ人工(チタン製)の歯根を埋め込む治療法です。その土台の上に人工の歯を装着することで、自然の歯と変わらないかみ心地を実現します。インプラント治療には、以下のような特徴があります。



- ◆残っている健康な歯に負担をかけることなく、自分の歯と変わらない感じでしっかり噛むことができます。
- ◆顎の骨にも力が伝わるため、骨の変形も少なくなります。
- ◆見た目も自分の歯と見分けがつかないくらい自然に仕上がります。
- ◆義歯の場合でも、しっかりと固定されるため、すべりやずれがありません。
- ◆外したりすることなく、自分の歯と同じように歯磨きできるので、お手入れが簡単です。
- ◆歯を失ったことによる、さまざまな制限や不快感から開放されるので、自信や積極性が回復されます。

インプラント治療のメリット

◆1. 残っている周囲の組織を健全に保てる

歯列や噛み合わせの力のバランスが崩れると、次々と歯が失われていくことがしばしばみられます。失った歯を補うことで、失った機能と形態を回復しながら、この力の調和を取り戻し、現在残っている歯、残っている顎の骨を守っていくことができるのです。

◆2. 咀嚼、発音、感覚機能などの機能の回復する

歯を失うことによって、咀嚼、発音、感覚機能は低下します。歯を補うことによってその機能を回復させることができます。



◆3. 見た目が美しい

インプラントでは、より天然歯に近い審美性を回復することができます。最近では、より審美性を考慮にいれた形態のものが開発され、高い審美性を得ることができます。

一方、審美性を優先して、力学的なバランスを失うことが問題となりますが、近年、積極的に骨を誘導したり、骨移植や結合組織移植などの外科的方法で、組織の改善が行われるようになり、力学的バランスを保ちながら、審美的なインプラントの埋入が可能になってきました。

◆4. 心理面でもプラスになる

失った歯を補うことにより、前述した機能や審美性が回復され、より快適な生活を送ることができるので、心理面でもプラスになります。

しかし、若い人にとって、入れ歯はかなりの心理的な抵抗や異物感があり受け入れられず、作っても使わない場合が多くみられます。この点、インプラントは異物感が少なく、機能的にも審美的にも優れているため、心理面で有利といえます。

インプラント治療のデメリット

「噛む力が強く、自分の歯と同じ感覚がある」インプラントは、多くのメリットを備えた理想的な治療法といえます。とはいえ、インプラントにはいくつかのデメリットも存在します。

◆1. 外科手術が必要

インプラントを埋め込むためには、外科手術が必要です。さらに、通常よりも精度の高いかぶせ物や上質の材料が必要となります。そのため、手術を含めると、比較的高額な治療費が必要となってきます。



◆2. 治療期間が長い

治療期間が他の治療に比べて長かかります。治療期間は最短でおおよそ4か月から半年ほどで、インプラントの本数が多い場合や骨を増やす手術もおこなう場合などでは、1年以上になることがあります。

◆3. 誰でも治療できるわけではない

誰でも治療できるというわけではありません。糖尿病などの全身疾患がある方は、インプラント手術ができない場合もあります。

第2章 他の治療方法との違いとは？

従来、抜けた歯を補う方法にはブリッジや入れ歯が用いられてきました。ここではインプラントとブリッジや入れ歯との違いをまとめました。ぜひご参考になさってください。

「インプラント」「入れ歯」「ブリッジ」との違い

◆インプラント

ブリッジと比べて、両隣の健康な歯を削る必要がありません。また、入れ歯と比較した場合、隣の歯にバネなどを引っ掛ける必要もないので残っている健康の歯が長持ちします。噛むチカラが強く、見た目も天然の歯と遜色ありません。



◆部分入れ歯

両隣の健康な歯をほとんど削らずに済みます。とはいえ、バネで両隣の歯に止めるため、不安定で噛む力は弱くなり、硬いものが噛めなくなるといったデメリットがあります。また、異物感が強いうえ、見た目も悪く、ものが挟まって痛い、入れ歯が合わなくて痛いなどのデメリットがあります。



◆ブリッジ

部分入れ歯に比べると安定しており、噛む力も回復するため自分の歯に近い噛み心地があります。とはいえ、ブリッジを支える両隣の歯を大幅に削る必要があります。また、噛み合せたとき両隣の歯



に負担がかかるため、さらに歯を失っていく原因になります。

第3章 治療の流れとは？

ここでは2回の手術を必要とする“2回法”の流れをご紹介します。“2回法”以外にも、1回の手術で済む“1回法”、数時間から数日で人工の歯を装着できる“即時負荷”などの治療法もあります。患者さんの口内の状態により手術法も変わってきますので、詳しくはカウンセリングの際にご相談ください。

◆1.予約

お電話にて、初診の診療予約をお願いします。



◆2.カウンセリング

安全で安心できる診療を行うために、初診時に患者さんの症状、健康状態についてお聞きします。歯に関するお悩み、ご要望をお聞かせください。



◆3.検査

口腔内診査、CT 検査、レントゲン検査、歯周病の検査、噛み合わせの検査模型作成、生活習慣のチェックなどを行うことで、患者さんの口腔内状態を把握、分析させていただきます。



◆4.問題点のリストアップと報告

検査結果を報告させていただきながら、口腔内カメラ等を利用して、リストアップされた問題点について、詳しく説明させていただきます。インプラント治療に入る前に必要な治療がある場合には、患者さんのご要望をお聞きしながら、これからの治療方針を検討していきます。



◆5.治療計画の立案

この時点では、失われた歯の数、場所、インプラントを埋め込む骨の状態などにより、さまざまな選択肢があります。歯にかかる力や強さや方向、衛生管理、患者さんの体調、スケジュールなどを含め、綿密に検討した上で治療方針を立てさせていただきます。治療方針について、患者さんと話し合いながら、治療計画を決定していきます。



◆6.インプラント治療についての説明

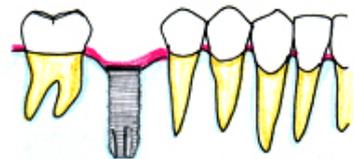
インプラントの前治療が終了したら、いよいよインプラント治療に移ります。

インプラント手術についてご説明し、手術前の注意事項をお話します。喫煙されている方は、手術 2 週間前から禁煙していただきますのでご注意ください。



◆7.インプラント埋入(1次手術)

インプラント専用オペ室にて、インプラント手術を行います。まず歯肉を開き、顎の骨にインプラントと同じ大きさの穴を形成。しっかりと固定できるように、顎の骨にインプラントを埋め込み、歯肉を閉じます。手術終了後、術後の注意事項などを説明いたします。



◆8.術後の消毒、抜糸

手術から約 1 週間後に来院していただき、術後の経過を調べます。その後、緩んでいる糸から抜糸を開始し、約 2 週間で抜糸が終了します。



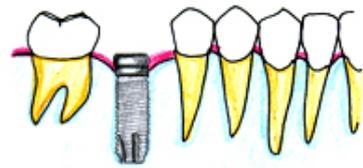
◆9.治癒期間

インプラントを埋入した後、インプラントと骨の結合(オッセオインテグレーション)が得られるのを待ちます。通常3ヶ月~6ヶ月で、この期間中は仮の義歯を使用することができます。



◆10.アバットメント装着(2次手術)

インプラントの安静期間が過ぎて、骨と生着したことを確認できたら、2次手術と呼ばれる歯肉の整形手術へ移ります。歯肉を開き、人工の歯を取り付けるための部品(アバットメント)を連結し、歯肉から露出させ、歯肉の形を整えていきます。インプラントに装着する人工歯がスムーズな外形をもって歯肉から萌出しているようにみせるための処置です。



◆11.治癒期間

口の中の型をとり、患者さんにあった仮歯を作製します。仮歯で噛み合わせ調整し、この状態で歯肉が治るまで1~6週間ほど待ちます。



◆12.人工歯の作製・装着

歯肉の形態が整った時点で型をとり、色や形を患者さんに合わせて作製します。人工歯をインプラントに装着することで治療は完了です。



◆13.メンテナンスと定期検診

インプラントも他の歯と同様に、口腔内を衛生的に保つことが重要です。適切なブラッシング方法を指

導させていただきます。3ヶ月～6ヶ月程度に1回の定期検診を行い、インプラントや人工歯、噛み合わせを確認します。

第4章 当院のインプラント治療の特徴

さて、インプラントがどういうものか、少しお分かりいただけただけでしょうか？この章では、当院のインプラント治療の特徴についてご紹介します。ぜひあなたのインプラント選びのご参考にしてみてください。

質の高いインプラント治療のために。年間 100 症例以上は治療しません

1 年 365 日。1 日 24 時間。限られた時間の中で、質の高いインプラント治療を行うためには、十分な時間が必要になります。一人ひとりの患者さんと向き合いながら診療し、その患者さんにあった治療を行うことが重要になるからです。そのため、塚原デンタルクリニックでは、年間 100 症例以上は治療しない方針をとっています。



時には、一人の患者さんに対して、1 時間ほどのコンサルテーションを 3 回ほど行うこともあります。CT で患者さんの口の中の状態を詳しく分析して、歯周病や噛み合わせを考慮した上、インプラント治療を行おうとすれば、緻密な準備が必要になるからです。

また当院では、すべてのインプラント治療を院長が直接診断・治療を行っています。それが、インプラント治療を受ける患者さんに対する責任だと考えているからです。あえて症例数を制限することにより、妥協のない、患者さんにとって最適な治療を提供することができるのです。

口腔外科の専門医・指導医である院長

当院の院長・塚原 宏泰は、日本口腔外科学会より専門医・指導医として認定されています。また、口腔外科(こうくうげか)指導医をもつことが条件となっている日本顎顔面インプラント学会の指導医でも

あります。口腔外科とは、歯だけでなく、口の中のすべての組織（歯や歯ぐきだけでなく、舌、頬の粘膜、舌の付け根、顎）や、口の中に生じた病気を専門に診断、治療する診療科のことを指します。

歯だけでなく、顎の骨などに対しても外科手術をするインプラント治療は、全身の健康状態が治療後も大きく影響を与える治療法です。そのため、患者さんの現在の健康状態を知るための内科的な知識と、インプラントを埋入する外科的な技術の両方が必要とされる専門的な治療となります。



口の中だけではなく、全身の内科的知識・外科的技術の習得が必須となるインプラント治療は、口腔外科で修練したドクターが行うことが理想的であると私たちは考えています。

他院で「骨が少ないから」とインプラント治療を断られた方もご相談を

インプラントを埋め込みたい骨の部分に十分な厚みや高さがなければ、インプラント治療を行うことはできません。ですが、「顎の骨が少ないので、インプラント治療は難しいですね」と他院で断られた人でも、インプラント治療を受けられる方法があります。



では、もともと歯が生えていた場所に、なぜ歯の替わりとなるインプラントを埋め込めないのでしょうか。それは、顎の骨がやせてしまうことに原因があります。歯が抜けてしまうと、顎骨への刺激が減ってしまうために、だんだん顎の骨が薄くなっていってしまうのです。そのため、歯が抜けてしまった場合には、早急な治療をすることが大切になってきます。

顎の骨がやせてしまい、十分な厚みや高さが無い場合でも、患者さん自身の骨や骨補填材を移植することにより、骨をインプラントの埋入を可能にする治療法があります。たとえば、その治療法のひとつが上顎洞底挙上術(サイナスリフト)と呼ばれるもの。上顎の骨の上部にある空洞に自分自身の骨や骨補填材などを移植して骨を増やすことにより、インプラント治療を受けることができようになります。

他院でインプラント治療を断られた方も、ぜひ一度、当院にご相談ください。

CTを活用した安全なインプラント治療

CTを完備していることも、当院がインプラント治療を検討されている患者さんに支持されている理由のひとつです。CTとはComputed Tomographyの略で、コンピュータによって人体の断面写真を撮影し、身体の組織を詳細に解析することができる医療用診断機器のこと。人間ドックなどでCT検査を実際に受けられた方もいらっしゃるかと思います。

歯科用のCTは照射量が医科用CTと比べて非常に少ないことが最大の利点です。照射量は通常歯科で使用される小さなレントゲン2枚程度です。医科用CTの1/30~1/100程度で安全性は実証されています。



以前の主流であったレントゲン写真は、2次元であるため、正確に顎の下にある神経や血管を確認することができませんでした。そのため、インプラント治療で神経や血管を傷つけてしまうというリスクもあったのです。それに対して、事前にCT撮影を行うことで、レントゲン写真などではわからなかった顎の骨や口の中の状態を詳しく知ることができます。

CT撮影により、可能な限り患者さんのリスクを減らしていくこと。それは、歯科医師として、当然の義務

であると当院は考えています。

クリーンなオペ室で安心できる手術を

インプラントも外科手術ですので、感染症などにかかるリスクのない、クリーンな環境でオペをすることがとても重要になります。当院では、日本の歯科クリニックではほとんどオペ室がなかった15年前から、オペ室を完備した治療を行ってきました。



当院のインプラントオペ室は、他の空間からは完全に隔離し、オペ室内では通常の数万分の一のレベルまで無菌化することにより、クリーンな環境での治療を実現しています。

インプラントオペ室があることは、手術を行うドクターにとってもメリットがあります。手元が非常に明るく、専門の機材がすぐに取り出せる環境の中で、より精密で安全な治療を行えるのです。オペ室のようにクリーンな環境で、リラックスしてインプラント手術を受けられることを、医院を選ぶ基準にされている患者さんも多いようです。

より安全な手術を実現するピエゾトーム 2

口の中にはたくさんの神経や血管が集中しており、軟組織と硬組織が近接しています。そのため、歯科・口腔外科の手術では、少しでも手術方法を誤ってしまうと、大切な神経や血管を傷つけてしまうリスクがあります。そのため、当院では CT 撮影を用いた事前の詳細な確認に合わせて、ピエゾトーム 2 (PIEZOTOME 2)を使った外科手術を行っています。

ピエゾトーム 2 とは、骨切削に特化した超音波振動による手術器具。今までの手術器具(バーによる切削)では困難であった、軟組織(粘膜、血管、神経など)を傷つけずに硬組織である骨だけを切る



手術を可能にします。日本では、まだ数院にしか導入されていない最新の技術です。

第5章 治療期間も短縮可能 / 「PRGF」とは？

当院の特徴としてもう一点、PRGFを用いた治療があります。PRGF(Plasma Rich in Growth Factor)とは、昨今、注目を集めている組織再生療法のひとつ。歯周組織(歯槽骨、歯肉など歯を支える組織)や骨を改善することができる治療法です。患者さんの血液から、各種増殖因子(成長因子)を取り出し、治療する部分に用いるため、安全に治療を受けられることがメリットと言えます。

このPRGFシステムをインプラント治療に用いることで、骨組織などの成長を促し、傷の治りが早くなることが期待できます。結果として、インプラントと骨が早期に結合されるため、治療期間が約40%短縮できる画期的な治療法です。

例えば、一般的な骨組織の治癒は4~6か月かかりますがPRGFシステムを併用することで、骨組織のボリュームを回復させ、さらに骨組織の治癒を約2倍に促進します。その結果約2か月程度で健康な骨組織の中にインプラントを埋入することが可能となります。

当院院長はPRGF System 日本協会理事であり、ドクターへのPRGF セミナーなどを開催するPRGF 治療のエキスパート。一日も早く、インプラント治療を終えたい患者さんは、ぜひ当院へご来院ください。



PRGF の流れについて

まずは、患者さん自身から採血します。使用する量によって採血量は異なりますが、歯科・口腔外科領域では、20cc 程度(多くても 40cc 程度)で、血液検査のときくらいの量です。この血液を PRGF 用の条件に設定した遠心分離器に入れ、8 分間遠心分離します。

◆遠心分離後の血液

一番下の赤い部分が赤血球です。その直上に一層の薄い白血球の層があります。さらにその上の黄色透明の部分が血漿になります。この血漿部分は血小板数、成長因子の濃度によって 3 つに分けられます。

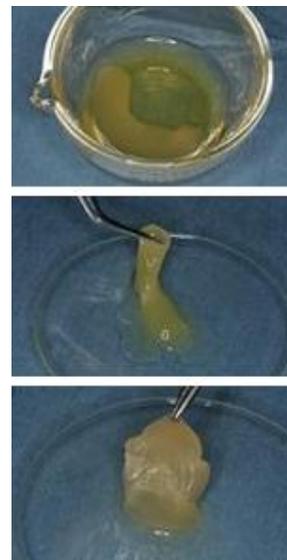


一番下(F3)(白血球層の直上)の部分が血小板成長因子を多量に含む部分で、ここが PRGF です。一番上(F1)は末梢血液と同様の血小板数が含まれ、フィブリンの調整(膜や糊のような役割)に使用します。血小板数が多くなるにつれてフィブリンは不安定になるので、F1 では安定したフィブリンになります。採取過程では、血小板は活性化されず α 顆粒も無傷のまま(成長因子は放出されていない)です。アクチベーターを使用して血小板を活性化することで初めて、成長因子の分泌が始まります。

◆活性化したら、恒温槽で固まるまで保ちます

PRGF 抜歯後に使用する場合などでは、試験管で活性化し、インプラントのような場合には、シャーレ上で活性化することによって形態を調整します。

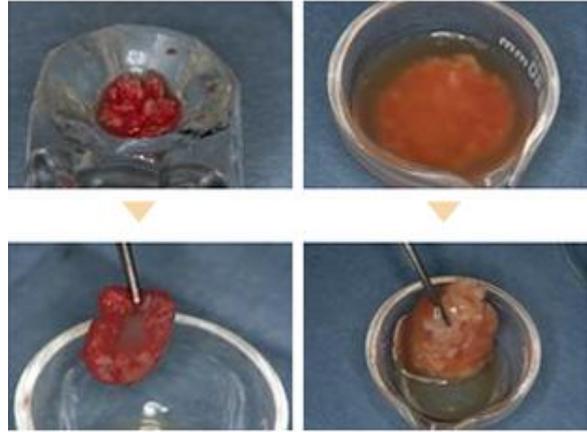
歯科では、骨移植の際に用いられることが多いのですが、骨移植片と PRGF を混合すると、血小板を多く含んだフィブリン基質が骨粒子を閉じ込



めて、使いやすくなります。

◆活性化するとゲル化し、固まります

PRGF 活性化すると、骨の治癒や改造に重要な多数のタンパク質や成長因子が放出し、幹細胞の分裂や骨基質形成、コラーゲン形成など治癒を促進します。



また、血管新生も促進されます。最適な骨修復のためには、移植片への血管侵入は不可欠であるため、この点においても有効です。

第6章 治療費について

当院のインプラント治療の費用をご案内します。ご不明な点はお気軽にお問い合わせください。

※下記の料金は税抜き価格です。

インプラント

手術の方法、インプラントの種類、本数、被せものの種類、お口の中の状態によって変わってきます。

骨移植や再生療法などが必要な場合には、それぞれの手術の料金がかかります。

インプラント埋入手術： 200,000 円、250,500 円、300,000 円

インプラント上部構造： 100,000 円、150,000 円、200,000 円

一般的に、手術、投薬、検査、材料、金属、上部構造代など全て含めて、1本あたり、300,000円～500,000円です。

例) 当院では、ブローネマルクインプラント・アストラインプラント・ストロマンインプラントを安全のため多く使用します。そして、メタルセラミッククラウンの上部構造の場合：400,000円です。

ミニインプラント： 1本 70,000円 通常、4～6本必要です。義歯を安定させるためのインプラントです。

骨移植手術

人工骨使用の場合(材料費を含む)： 100,000円～200,000円

自家骨使用の場合： 100,000円～200,000円

上顎洞底挙上術(サイナスリフト)

片側： 200,000円～

組織再生療法

PRGF システム： 30,000円～(症例による)

お支払いについて

◆分割払い

デンタルローン、毎月均等分割払い、ボーナス併用払い、ボーナス一括払いと選べ、最高 60 回までの分割支払いが可能です。

◆一括支払い

当院指定の銀行口座へお振込み下さい。

注: 銀行口座へのお振込み手数料は患者さまのご負担になります。

◆クレジットカード

クレジットカードでもお支払い可能です。※カード会社によってお受けできない場合もございます

保証期間について

当院では、患者さん一人ひとりが安心していただける治療を心がけています。じっくりとお話をお聞きしながら、患者さんと向き合いながら、ベストな治療を行っていくことはもちろん、術後も安心していただけるように 5 年間の保証期間を定めています。

もし万が一、インプラントを通常の条件で使用される中で、破損・脱落・不適合などが生じてしまった場合、術後 5 年間、無料で再治療を行わせていただきます。この保証は、患者さんに定期検診・メンテナンスを受けていただくことを条件としています。

それは、インプラント治療は外科手術で終わりではなく、患者さんの毎日の暮らしの中で、共に生きていく大切な歯であるからです。あなたのインプラントが、一生ものの歯になりますように。ぜひご協力ください。

終わりに 院長の思い

いかがですか？インプラント治療のことをある程度、ご理解いただけたのではないのでしょうか？最後に私の思いを少し語らせてください。

歯科クリニックにとってではなく、患者さんにとって最適な治療を。

歯科クリニックだからと言って、歯や口の中だけを診察して治療するのはいけない。患者さんの身体全体の健康を総合的に診断することが治療のスタートであると考えています。患者さん一人ひとりの口内環境や体調などによって、治療法の選択肢も大きく変わってくるからです。



たとえば、当院ではインプラントだけを勧めるようなカウンセリングはしません。患者さんの口内の現状や健康状態、ライフステージ、仕事への影響などを複合的に検討しながら、患者さんにとって、患者さんの身体にとって、最適な治療法をご提案させていただきます。もし治療前に疑問や不安のある場合には、胸の内にしまわずにお気軽にお尋ねください。

虫歯や歯周病などの進行性の病気の場合には、一刻も早い治療をご提案いたしますが、インプラントなど治療スケジュールに自由度のある治療の場合には、ぜひスケジュール等もご相談ください。

歯の治療をすることは、患者さんと一生つきあうこと。

歯周病治療でも、インプラント治療でも、どんな治療でも、手術や治療が終わったら終わり。という治療ではなく、患者さんが一生つきあっていく歯やインプラントであるからこそ、責任を持てる治療を行わな

ければならない。そう私たちは考えています。

数多くある歯科クリニックの中から、塚原デンタルクリニックを選び、私たちに治療をらせていただけることに感謝しながら、患者さんに可能な限り 100%に近い治療を行いたい。そのためには、カウンセリングによるベストな治療法を選ぶことはもちろん、治療の結果が大切になります。

リスクのある治療はしないこと。専門的な技術が問われるインプラント治療は人まかせにせず、必ず院長である私自身が行うこと。日々、安心して治療を受けられる環境を整えながら、当院に「治療を任せて良かった」と思っていただけのように、患者さんにとってベストな治療を提供させていただきます。

現在では、北は北海道から、南は鹿児島まで。当院へ治療に通ってくださる患者さんもいらっしゃいます。そんな患者さんとの出会いに、歯科医という仕事との出会いに感謝しながら、これからもこの仕事に全力で取り組んでいきたいと思えます。

医療法人社団宏礼会 院長 塚原 宏泰

【経歴】

平成元年：日本大学松戸歯学部卒業

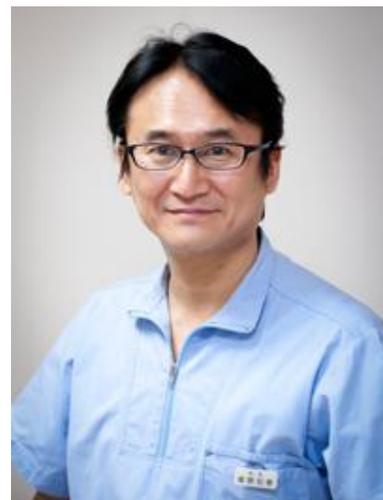
東京医科歯科大学歯学部 第二口腔外科 入局

平成 10 年：塚原デンタルクリニック開院

平成 13 年：歯学博士 取得

平成 16 年：医療法人社団宏礼会 塚原デンタルクリニック 設立

東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科 口腔機能再建学講座 顎口腔外科分野 臨床客員教授



【資格】

日本口腔外科学会 専門医 指導医
日本顎顔面インプラント学会 指導医
日本顎関節学会 専門医 指導医
社会保険中央総合病院歯科 インプラント 口腔外科担当
医療法人豊仁会 三井病院歯科 口腔外科部長 インプラント担当
PRGF System 日本協会理事 BTI 社公認 PRGF System 指導医
Academy of Osseointegration Active member

【所属学会】

日本口腔外科学会/日本顎関節学会/日本口腔科学会/日本歯周病学会/日本顎顔面インプラント学会/日本口腔インプラント学会/日本臨床歯周病学会/国際口腔外科学会/日本顎咬合学会/アジア口腔外科学会/Academy of Osseointegration

塚原デンタルクリニック

【住所】〒101-0052

東京都千代田区神田小川町 1-8 小川町クレストビル 3F

【電話番号】03-5289-4555



【診察時間】

月～土曜日	午前 9:30～13:00 午後 15:00～18:30 第2・4木曜日は休診 金曜日は 17:00 まで 土曜日は 18:00 まで
-------	--

※日曜・祝祭日休診

【アクセス】

- ◆新御茶ノ水駅、淡路町駅、小川町駅、各 B4 出口 すぐ前
- ◆御茶ノ水駅、神田駅、秋葉原駅から徒歩約 5 分